

Course number	U-LAS55 10002 SB31				
Course title (and course title in English)	海外実地セミナー :暮らし・環境・平和－ベ トナムに学ぶ Overseas Field Seminars :Livelelihood, Environment and Peace - Studying in Vietnam		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Global Environmental Studies Associate Professor,OCHIAI CHIHO Graduate School of Global Environmental Studies Assistant Professor,NUKINA RYOU Graduate School of Global Environmental Studies Assistant Professor,SHIBATA Makoto Graduate School of Global Environmental Studies Associate Professor,TANAKA SHUHEI Graduate School of Global Environmental Studies Associate Professor,SHINJYO HITOSHI Graduate School of Global Environmental Studies Assistant Professor,HIGASHIGUCHI AKIKO	
Group	Career Development		Field(Classification)		
Language of instruction	Japanese and English		Old group		Number of credits 2
Hours	30	Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2025 • Intensive, First semester
Days and periods	Intensive On-site training scheduled for approximately 12 nights and 13 days starting in early August	Target year	All students	Eligible students	For all majors

[Overview and purpose of the course]

- ・事前講義では、ベトナムやアジア地域の環境、開発に関する話題を講述・議論する。
 - ・海外臨地研修では、主にベトナム中部の村落や史跡を訪問し、地域それぞれの自然環境や歴史、社会環境と暮らし、生業について学ぶとともに、「平和」を考える。
 - ・海外渡航での安全管理や地域の人々との関わりの作法についても学習する。

[Course objectives]

ベトナムの山岳部における人々の暮らし、自然環境や生業等を理解する。

ベトナム戦争の歴史や戦地訪問を通じて、戦争について考える。

急速に発展するダナン市内の下水処理やごみ処理などの環境問題について学ぶ。

歴史や社会環境について考える

[Course schedule and contents])

8月初旬から約12泊13日間の臨地研修を予定している。

1) 臨地訪問

- ・山岳部の人々の暮らし、自然環境や生業等について学ぶ
 - ・ベトナム戦争の歴史や戦地訪問を通じて、戦争について考える
 - ・急速に発展するダナン市内の下水処理やごみ処理について学ぶ
 - ・ベトナムの史跡や村落への訪問を通じて、歴史や社会環境について考える

2) 学生交流・現地調査

- ・興味のある課題を設定し、ベトナム人学生と共に調査計画、現地調査を実施
 - ・学生生活や双方の国に関する歴史・文化等に関する意見交換

3) 成果発表

- ・ベトナム人学生と共同で研究成果を発表する

Continue to 海外塞地ヤミナー：暮らし・環境・平和－ベトナムに学ぶ(2)

[Course requirements]

履修定員：12名

[Evaluation methods and policy]

事前研修レポート（10点）、現地での発表（30点）、事後研修レポート（60点）の合計100点により評価を行う。詳細は事前講義で説明する。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

（ References, etc. ）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

ベトナムに関する基礎知識を書籍やインターネットを通じて事前に収集しておくこと。また、事後研修レポートの作成時には、現地での経験や収集した情報を振り返り、反映すること。

[Other information (office hours, etc.)]

5月に説明会を行う。

6月初旬までに申請フォームに必要事項および「志望理由」を入力して送信し、「受講誓約書・同意書」を国際高等教育院（全学共通科目レポートボックス）へ提出する。

また、前期の採点報告日以降に実施するため、成績報告が前期に間に合わない可能性がある。

注意事項：

（1）原則全額自己負担。自己都合での取りやめや不開講等の場合、キャンセル料などは全て自己負担となる。

（2）参加費用には、往復航空運賃（空港利用料・空港税・国際観光旅客税・燃油付加運賃含む）、国内外での研修費、宿泊費、交通費、現地交流費用および諸雑費が含まれる。

（3）参加費用以外の経費として、パスポート取得料、学研災付帯海外留学保険費、国内交通費、小遣いなどがある。これらは原則として各自が行う。

[Essential courses]